

# 憲法25条を 守り、活かそう!

10.25 中央行動

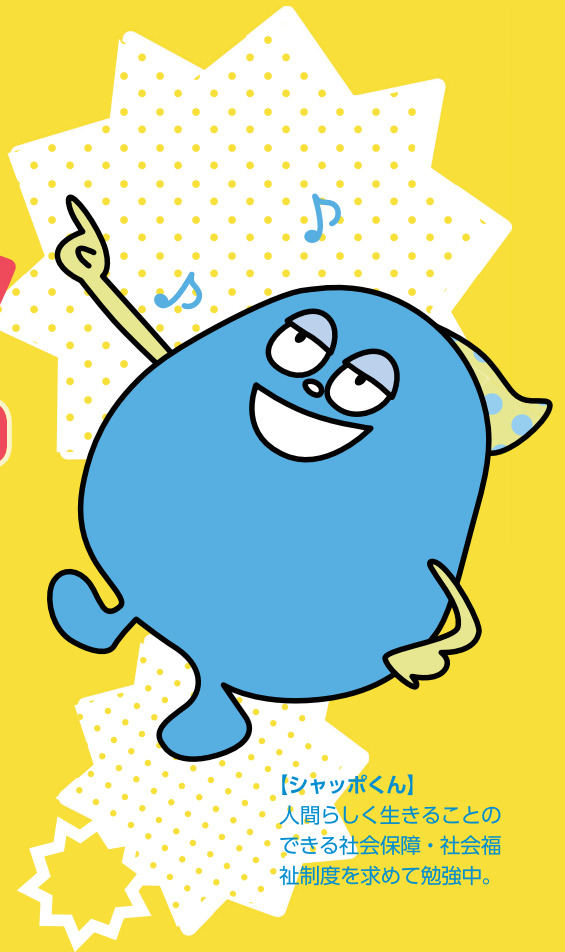
10月25日 **木** 日比谷野外音楽堂  
⇒ 厚労省包囲行動

スケジュール

12:00 開場  
12:30 文化行事  
13:00 中央集会開会  
15:10 厚労省包囲行動  
15:30 閉会

※同時時間帯でグループ分けして  
以下の行動を並行して取り組みます  
(1)記者会見  
(2)国会議員要請(厚労委員)  
(3)厚労大臣・副大臣要請

集会後のデモ・パレードは行わず、厚労省包囲行動を実施します。



**[シャッポくん]**  
人間らしく生きることの  
できる社会保障・社会福  
祉制度を求めて勉強中。

社会保障・社会福祉は国の責任で!

## 10.25 中央行動への参加・賛同を呼びかけます

誰もがいきいきと希望をもって安心して生きられる社会にすることは、私たちみんなの願いです。生存を脅かす戦争への反省とともに、その願いが託されて日本国憲法が生まれました。

憲法第25条は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利が私たちにあり、国はそれを保障する義務があると明確に示しています。

しかしながら、政府は社会保障制度改革推進法を始めとした諸法律によって憲法第25条を空洞化させ、国民の生存権を保障する国の責任を放棄して社会保障の抑制を次々と進めています。「自己責任」と「営利化」を基本にした「社会保障解体」では国民のいのち・くらしは守れません。

本来「社会保障制度改革」は、「財源が無いから」と社会保障を縮小するのではなく、税制改革や所得の再配分機能を生かして財源を確保し、必要な保障を確保するものであるべきです。

私たちは、社会保障・社会福祉は国の責任だということを、改めて政府に求めます。

今年10月・11月をゾーンに東京や全国各地で社会保障・社会福祉に関するさまざまな集会や行動を展開し、10月25日には、日比谷野外音楽堂で集会・厚生労働省包囲行動を中央行動として、実施します。医療、介護、保育、障害、生活保護、高齢者など、各分野の現場実態からの発言を中心に計画しています。

ぜひ、一緒に手をつなぎ、「憲法25条を守り、活かそう!」の大きな世論を創りましょう。



主催 「憲法25条を守り、活かそう」共同実行委員会

集会事務局  
(お問い合わせ先)

中央社会保障推進協議会 / TEL:03-5808-5344 きょうされん / TEL:03-5385-2223 全国福祉保育労働組合 / TEL:03-5687-2901  
障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会 / TEL:03-3207-5937 全国生活と健康を守る会連合会 / TEL:03-3354-7431  
日本高齢期運動連絡会 / TEL:03-3384-6654 いのちのとりで裁判全国アクション / inotori25@gmail.com

【アピール】

**「憲法 25 条を守り、活かそう！」「社会保障・社会福祉は国の責任で！」**

## **2018 秋の集会・行動への参加・賛同を呼びかけます**

誰もがいきいきと希望をもって安心して生きられる社会にすることは、私たちみんなの願いです。生存を脅かす戦争への反省とともに、その願いが託されて日本国憲法が生まれました。

憲法第 13 条は、ひとり一人の生命が大事にされ、自由が守られ、幸せを求めて人間らしく生きることが最大限に尊重されなくてはならないとしています。また第 25 条では、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利が私たちにあり、国はそれを保障する義務があると明確に示しています。

しかしながら、政府は社会保障制度改革推進法を始めとした諸法律によって憲法第 25 条を空洞化させ、国民の生存権を保障する国の責任を放棄して社会保障の抑制を次々と進めています。「自己責任」と「営利化」を基本にした「社会保障解体」では国民のいのち・くらしは守れません。

本来「社会保障制度改革」は、「財源が無いから」と社会保障を縮小するのではなく、税制改革や所得の再配分機能を生かして財源を確保し、必要な保障を確保するものであるべきです。

私たちは、社会保障・社会福祉は国の責任だということを、改めて政府に求めます。そして、人間らしく生きることのできる社会保障・社会福祉制度を求めて、「憲法 25 条を守り、活かそう！」共同行動実行委員会を立ち上げました。

今年 10 月・11 月をゾーンに東京や全国各地で社会保障・社会福祉に関するさまざまな集会や行動を展開し、「憲法 25 条を守り、活かそう！」の大きな世論を創りだしましょう。高齢者・子ども・障害者・生活困窮者などの各分野を超えた団体・個人が広く手をつないで、それぞれが「憲法 25 条を守り、活かそう」を共通のスローガンとして掲げ、大きなうねりを創りだしましょう。共同行動実行委員会では、10 月 25 日に日比谷野外音楽堂での集会・厚生労働省包囲という中央行動を実施します。

この一連の共同行動に、立場や分野を越えてご賛同いただき、つながり、全国各地で、集会・学習会・街頭宣伝・パレード行進などを、できれば地域共同の取り組みとして企画いただけるよう呼びかけます。

ぜひ、一緒に、手をつないでいきましょう。

2018 年 8 月

【「憲法 25 条を守り、活かそう！」共同行動実行委員会問い合わせ先】

中央社会保障推進協議会(中央社保協) 担当(山口、是枝)

〒110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5 日本医療労働会館 5F

TEL 03-5808-5344 FAX 03-5808-5345 Email [k25@syahokyo.jp](mailto:k25@syahokyo.jp)

※8月22日現在、10～11月に開催される以下の集会、共同行動に賛同をいただいています。

- 10月11日 憲法・いのち・社会保障まもる10・11国民集会
- 10月19日 年金フェスタ／一揆
- 10月25日 憲法25条を守り、活かそう10・25中央行動
- 10月30日 『骨格提言』の完全実現を求める10.30大フォーラム
- 11月 3日 子どもたちによりよい保育を！ 11.3大集会
- 11月18日 介護全国学習交流集会
- 11月23日 地域医療を守る全国運動交流集会
- 11月23～24日 障全協、第51回全国集会・中央行動
- 11月25～26日 第32回日本高齢者大会

○「**憲法25条を守り、活かそう！**」「**社会保障・社会福祉は国の責任で！**」2018秋の行動 呼びかけ人(アイウエオ順 敬称略)

- 雨宮処凛 作家・反貧困ネットワーク世話人
- 伊藤真美 花の谷クリニック院長
- 稲葉 剛 立教大学特任准教授
- 井上英夫 金沢大学名誉教授・佛教大学客員教授
- 宇都宮健二 弁護士
- 荻原博子 経済ジャーナリスト
- 落合恵子 作家・クレヨンハウス主宰
- 金子 勝 慶応義塾大学教授
- 香山リカ 精神科医・立教大学教授
- 河合克義 明治大学学長特別補佐・名誉教授
- 川嶋みどり 日本赤十字看護大学名誉教授
- 菅原文子 米軍基地に反対する「辺野古基金」共同代表
- 竹下義樹 弁護士
- 堤 未果 国際ジャーナリスト
- 富田宏治 関西学院大学教授
- 西谷 修 安保法制に反対する学者の会呼びかけ人
- 浜 矩子 同志社大学大学院ビジネス研究科教授
- 尾藤廣喜 弁護士
- 日野秀逸 東北大学名誉教授
- 藤井克徳 NPO法人日本障害者協議会代表
- 藤田孝典 NPO法人ほっとプラス代表
- 本田宏 NPO法人医療制度研究会副理事長・外科医師
- 吉原毅 原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟会長

